

# しのぶ草



(発行 偶数月)  
発行：宮崎市教育委員会文化財課  
宮崎市きよたけ歴史館  
発行責任者 川口 眞弘  
所在地：宮崎市清武町加納甲3378-1  
TEL 0985-84-0234 FAX 0985-84-2634  
E-mail kiyorekisi-u@city.miyazaki.miyazaki.jp

## 安井息軒の『しのぶ草』の足跡をたどって

11月7日(土)、本館主催の「文化探訪バスツアー」を実施しました。安井息軒は文政3年(1820)の大坂遊学に先立って9月、飢肥藩主伊東家ゆかりの地である都於郡から高鍋方面に単身2泊3日の旅に出ます。帰郷後、旅の思い出をつづり、清武時代の安井息軒の唯一の著作としてまとめ、『志濃武(しのぶ)草』と命名します。本館ではこれを本館だよりの題名にしています。



伊東マンショの慰霊祭

南北朝時代中期には伊東祐重が都於郡に入った記録があり、伊東氏は天正5年(1577)の豊後落ちまではこの城を本拠地にし、安井家も家臣として伊東家に仕えていたのです。今年のバスツアーは『しのぶ草』のルートを進んで、時は移り、様相はかなり変化していますが、若き日の安井息軒が見分し、心に感じたことを追体験しようという趣向でした。応募者が多数でしたので、抽選させていただきました。参加者25名で実施しました。

都於郡一帯はその後島津氏の手に移ったこと、さらに一國一城令により廃城となったことから、江戸時代の都於郡城周辺や伊東氏の墓地などはかなり荒れ果てていたようです。息軒と同じように若い頃、単身都於郡近辺を旅した息軒の父、滄洲(そうしゅう)も当時の様子を歎いています。

しかし今は伊東家の墓所のある大安寺も、光照寺も、息軒が神楽を見ながら酒を楽しんだという鹿野田神社もきれいに整備されています。誠に恥ずかしながら、初めてじっくりと都於郡城を訪れたわたしは、その規模の大きさ、素晴らしさに唖然としてしまいました。そして大変幸運なことに、当日は都於郡城に生まれ、天正の遣欧使節として他の4人の少年たちと共にヨーロッパに渡り、ローマ法王に謁見した伊東マンショの慰霊祭に遭遇しました。本丸のマンショの像の前にはカトリックの司祭やスペイン大使、顕彰会の方々等、マンショに関連のある皆様のご臨席され、おごそかな雰囲気の中で式典が行われていました。

幸運は重なり、カノンという歌手も見えていて、この世のものは思えない素晴らしい唄声を聴くことができました。(文責：川口)



参加者一同 住吉神社にて

### 平成27年度企画展

「碑(いしぶみ)は語る 伊豆道明氏の拓本コレクション」  
平成28年1月30日(土)～3月13日(日)  
午前9時～午後4時30分  
休館：月曜日(祝日の際は翌日)  
昨年伊豆氏より寄贈いただいた貴重な拓本を展示します。

## 《 古代の清武 》

古代の宮崎県は日向国と呼ばれており、『延喜式』によると「大・上・中・小」の4ランクのうち「中」国にあたり、臼杵郡・児湯郡・那珂郡・宮崎郡・諸県郡の5郡からなっていました。この5郡の内、清武地域は宮崎郡に属していたようです。

奈良・平安時代の清武地域の人々の生活がわかるような文献資料は残っていませんが、これまでに行われた発掘調査からは重要な調査成果が得られていますので、今回はその一部について紹介いたします。

船引にある清武上猪ノ原遺跡では、溝によって区画されていた掘立柱建物群が見つかりました。これらは出土遺物から9世紀後半から10世紀のものと考えられています。また本遺跡から南西方向へ直線距離でわずか200メートルほどの位置にある五反畑遺跡A地区では大量の土器が廃棄されていた溝状遺構や墓などが発見されています。この遺跡から大量に出土した遺物は清武上猪ノ原遺跡の建物群と同じ時期のものばかりで、中には中国から輸入された陶磁器である長沙窯(ちょうさよう)の黄釉水注の破片や京都産の緑釉陶器、「春(はる)など書かれた墨書土器が見つかりました。長沙窯の陶磁器は宮崎県内でまだ4点しか見つからない重要な資料です。

清武上猪ノ原遺跡は遺跡の北東部にある船引神社を見下ろすような高台にあり、清武川はもちろん岡川の流れも眼下にあることから水運を掌握するのにふさわしい立地となっております。本遺跡は五反畑遺跡A地区を含めた集落の本体部分と考えられ、河川流通を掌握し長沙窯(ちょうさよう)を持つことができるような有力者の居館跡と位置づけられています。(文責：秋成)



五反畑遺跡A地区から出土した古代の土器

## 歩こや清武 「清武城跡・船引神社周辺の史跡をめぐる旅」

3月13日(日)、9時から12時まで恒例の「歩こや清武」を実施します。集合場所は加納小学校西側駐車場です。電話、葉書、メールにてお名前、ご住所、連絡先を本館まで締切は2月28日(日)、本館連絡先は上記です。  
呈茶 … 2月2日～7日 13時～15時

本館では梅花香るこの時期に茶道の先生方のご協力を得て、例年ご来館の皆様にお茶を差し上げています。是非…